



渡りの点と線をつなぐ地域フォーラム

北極圏でのヘラシギとシギ・チドリ類の繁殖状況についてロシアの研究者エフゲニーさんとエレナさんから直接お話しが伺える貴重な機会です。

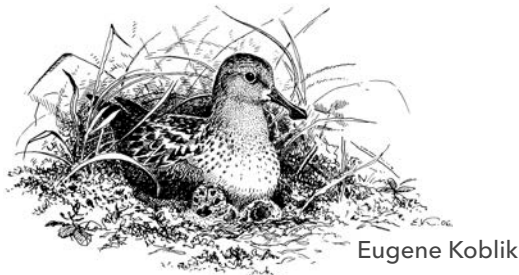
シギ・チドリ類の中でも、絶滅がもっとも危惧されている「ヘラシギ」はアジア大陸の東側を使い、アラスカの対岸、ロシアの北極圏東端のチュコト半島で繁殖し、毎年、東南アジア・インドまでの7,000 kmの渡りをします。個体数は多くありませんでしたが、2000年以降急速に減少して現在、世界の総個体数は300-600羽と推計されます。減少の状況はほかのシギ・チドリ類も同様です。

ラムサール・ネットワーク日本はヘラシギとシギ・チドリ類の保全活動を行なってきましたが、2016年に日本各地で保全活動を行う個人およびNGOと共にシギ・チドリ類の保全のための「シギ・チドリ類ステッピング・ストーンズ」というネットワークを立ち上げ、連携を強化して情報交換等を推進しています。

今回、ロシアのエフゲニー・シロエチコフスキーさんとエレナ・ラッポさんを渡り鳥が飛来する九州沿岸の干潟や河口を訪れる際、地域で保全活動をしている人たちと情報交換をするフォーラムを開催する運びとなりました。開催都市は、福岡市、八代市、佐賀市、中津市の4カ所です。

ロシアからは、ヘラシギの繁殖地での様子や現在の状況、その他のシギ・チドリ類の繁殖地での様子について伺いたいと思います。日本からは、渡りの途中の鳥の状況について、市民調査によるデータを両博士に示し、渡り経路全体を通じた保全につなげる機会となれば幸いです。

またとない機会ですので、お近くの会場に是非お越しください。



主催：ラムサール・ネットワーク日本

共催：シギ・チドリ類ステッピング・ストーンズ



エフゲニー・
シロエチ
コフスキー博士

生物学博士、ロシア天然資源省全ロシア研究所の北極圏生物多様性保全センター長、東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップヘラシギ特別部会議長。1990年モスクワ国立総合大学地理学部卒業後、ロシア科学アカデミー地球物理学研究所勤務20年。研究対象は鳥類、ロシア北極圏の生物地理、自然保護に取り組む。25期の極北僻地踏査を主催、北極圏で繁殖するシギ・チドリ類の越冬地東南アジア踏査参加5回。刊行された科学論文170以上。



エレナ・
ラッポ博士

地理学博士、ロシア科学アカデミー地理学研究所上席研究員。1991年モスクワ国立総合大学地理学部卒業後、地理学研究所に所属。研究テーマは北極圏の鳥類分布、マッピングに取り組む。ロシア北極圏（タイミル、ヤクーツク、チュコト、カムチャッカ）17回、熱帯の越冬地（オーストラリア、南米、アフリカ、東南アジア）5回の踏査に参加。刊行された科学論文は80にのぼる。

各地のフォーラム 開催案内

福岡市

日時：3月11日（日）
14：00～16：00
場所：まもる一む福岡(定員50名)
福岡市中央区地行浜2丁目1-34
福岡市保健環境研究所1F
申込みメール：k_river_field@yahoo.co.jp
ふくおか湿地保全研究会・河野まで

要申込み



www.city.fukuoka.lg.jp/kankyom-room/

八代市

日時：3月17日（土）
13:00～15:00
場所：やつしろハーモニーホール
中会議室（定員50名）
熊本県八代市新町5-20
Tel：0965-53-0033

申込み不要



佐賀市

東よか干潟（大授搦）観察会
日時：3月18日（日）
9:00～11:00 探鳥会(干潟)①
11:00～12:00 講演会②
集合場所：佐賀市東与賀町
東よか干潟展望台①
場所：東与賀ガイダンスルーム②

申込み不要



中津市

日時：3月13日（火）
13:00～15:00 交流会
15:00～16:00 シギチドリ観察
場所：ひがたらぼ（定員10名）
中津市東浜1153-13
Tel：0979-77-4396

申込み不要



お問合せ

"Shorebirds Stepping Stones"（ステッピング・ストーンズ）シギ・チドリ類保全ネットワーク
メール：inq.steps@gmail.com
電話：03-3834-6566（ラムサール・ネットワーク日本事務局）ファックスも同じ
住所：〒110-0016東京都台東区台東1-12-11青木ビル3F ラムサール・ネットワーク日本

